株式会社 フィデア総合研究所
The FIDEA Research Institute Corporation.

# 第６回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

（平成２４年１１月調査）

## ～後退色を強める県内景気～

### 【　調査の要旨　】

- **県内企業の業況**については、自社の業況判断を示す「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲15.8 と前回調査に比べて 16.6 ポイントの下落で 2 期連続の悪化となり、3 期ぶりに「悪い」超に転じた。「各種ＤＩ値（前年同期比）」でみても、「売上高」が▲10.2（同 15.4 ポイント下落）とマイナスに転じたほか、「営業利益」が▲14.3（同 11.2 ポイント下落）、「資金繰り」が▲8.2（同 5.1 ポイント下落）とマイナス幅が拡大するなど、*県内景気は後退色を強めている。*
- **業種別**に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、建設業で 2.3（前回調査比 1.0 ポイント上昇）と小幅ながら改善したものの、サービス業で▲2.0（18.0 ポイント下落）と「悪い」超に転じたほか、製造業で▲22.3（同 13.5 ポイント下落）、卸・小売業で▲35.5（同 31.8 ポイント下落）とマイナス幅を拡大するなど、いずれも悪化となった。*建設業は公共工事の緩やかな持ち直しや一部の復興関連需要などを背景に底堅い状況ながら、他の業種では悪化傾向が顕在化している。*
- **地域別**に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、県北で▲20.5（前回調査比 26.8 ポイント下落）、中央で▲13.8（同 17.1 ポイント下落）と「悪い」超に転じたほか、県南では▲17.1（同 9.6 ポイント下落）と引き続き「悪い」超となり、*いずれの地域でも前回調査に比べて悪化し、ＤＩ値はすべて「悪い」超に転じた。*
- **先行き見通し**は、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲20.0（今回調査比 4.2 ポイント下落）と一層の悪化が見込まれている。売上高、営業利益、資金繰りがいずれも 2 ケタ台のマイナスとなりマイナス幅が拡大するなど、欧米経済の停滞や新興国経済の減速に加え、政策効果の剥落の影響もあり、*内外需要の減退懸念が色濃く窺える。*

### 【　特別調査　】

- **冬季のボーナス予定**について尋ねたところ、全業種で 57.0%が「支給する」と回答しており、*「支給する」と回答した企業の割合は前年比で 4.0 ポイントの低下となった。*業種別にみると、建設業が 48.5%と前年比で 5.4 ポイント上昇となった。一方、製造業 42.6%（7.4 ポイント下落）、卸・小売業 67.1%（5.1 ポイント下落）、サービス業 73.5%（6.2 ポイント下落）と建設業以外の業種ではいずれも前年比で低下となっている。

平成２４年１１月

株式会社フィデア総合研究所

# 目次

Ⅰ. 県内企業の業況 ..... 1
1. 概況 ..... 1
2. 業種別の動向 ..... 2
（１）業種別の概況 ..... 2
（２）業種別ＤＩ値の動向 ..... 3
① 建設業 ..... 3
② 製造業 ..... 4
③ 卸・小売業 ..... 5
④ サービス業 ..... 6
3. 地域別の動向 ..... 7
（１）地域別の概況 ..... 7
（２）地域別ＤＩ値の動向 ..... 8
① 県北 ..... 8
② 中央 ..... 9
③ 県南 ..... 10
Ⅱ. 景気の天気予報図 ..... 11
Ⅲ. 特別調査（冬季ボーナスについて） ..... 12
１．冬季ボーナスの支給動向 ..... 12
２．冬季ボーナスの支給額 ..... 13
３．支給企業割合と支給額の推移 ..... 14
＜参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率　Ⅱ：調査の概要＞ ..... 15

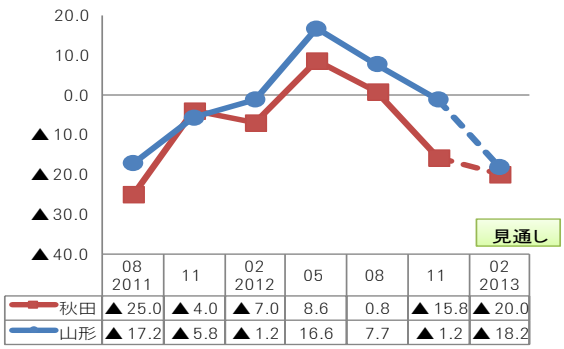
# Ⅰ. 県内企業の業況

## 1. 概況

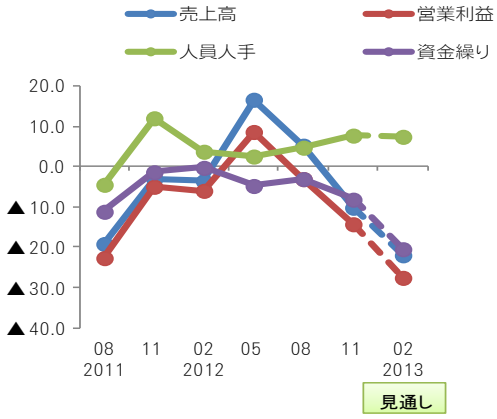
県内企業の業況については、自社の業況判断を示す「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲15.8と前回調査に比べて 16.6 ポイントの下落で 2 期連続の悪化となり、3 期ぶりに「悪い」超に転じた。。今回調査における山形のＤＩ値（前年同期比）は▲1.2（同 8.9 ポイント下落）と両県とも悪化となったものの、秋田のマイナス幅が大きく、山形を上回る悪化となっている。「各種ＤＩ値（前年同期比）」でみても、「売上高」が▲10.2（同 15.4 ポイント下落）とマイナスに転じたほか、「営業利益」が▲14.3（同 11.2 ポイント下落）、「資金繰り」が▲8.2（同 5.1 ポイント下落）とマイナス幅が拡大するなど、県内景気は後退色を強めている。

先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲20.0（今回調査比 4.2 ポイント下落）と一層の悪化が見込まれている。売上高、営業利益、資金繰りがいずれも２ケタ台のマイナスとなりマイナス幅が拡大するなど、欧米経済の停滞や新興国経済の減速に加え、政策効果の剥落の影響もあり、内外需要の減退懸念が色濃く窺える。

図表 1 全業種「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




図表 2 全業種「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移




前年同期比の自社業況ＤＩ値

| 全業種 調査時（サンプル数） | 自社業況（前年同期比） | 前回調査比 | 前回調査予測 | 売上高 | 営業利益 | 人員人手 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H 23.11 (n=300) | ▲ 4.0 | 21.0 | ▲ 13.8 | ▲ 3.0 | ▲ 5.0 | 12.0 | ▲ 1.4 |
| H 24.02(n=302) | ▲ 7.0 | ▲ 3.0 | ▲ 23.0 | ▲ 3.6 | ▲ 6.0 | 3.7 | ▲ 0.3 |
| H 24.05(n=442) | 8.6 | 15.6 | ▲ 25.5 | 16.6 | 8.6 | 2.5 | ▲ 4.8 |
| H 24.08(n=385) | 0.8 | ▲ 7.8 | ▲ 10.2 | 5.2 | ▲ 3.1 | 4.7 | ▲ 3.1 |
| H 24.11 (n=405) | ▲ 15.8 | (▲ 16.6) | ▲ 10.7 | ▲ 10.2 | ▲ 14.3 | 7.7 | ▲ 8.2 |
| 前回調査比 | - | - | - | (▲ 15.4) | (▲ 11.2) | (3.0) | (▲ 5.1) |
| 先行き見通し | ▲ 20.0 | - | - | ▲ 22.0 | ▲ 27.6 | 7.4 | ▲ 20.5 |
| 今回調査比 | (▲ 4.2) | - | - | (▲ 11.8) | (▲ 13.3) | (▲ 0.3) | (▲ 12.3) |

※「売上高」ＤＩ値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

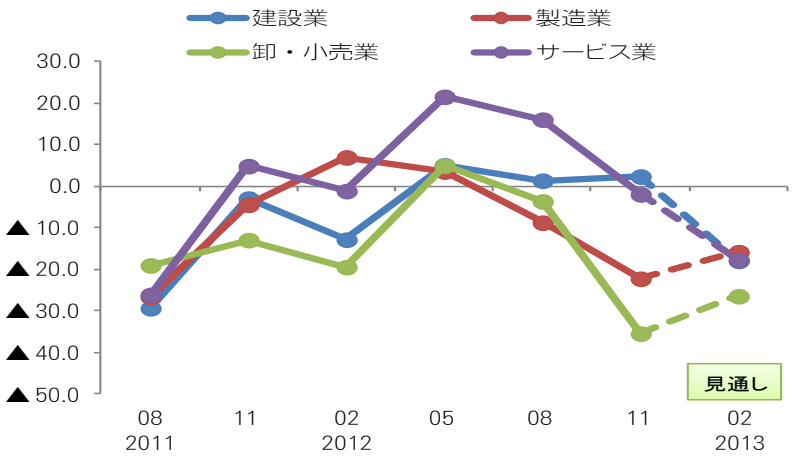
# 2. 業種別の動向

## （１）業種別の概況

業種別に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、建設業で 2.3（前回調査比 1.0 ポイント上昇）と小幅ながら改善したものの、サービス業で▲2.0（18.0 ポイント下落）と「悪い」超に転じたほか、製造業で▲22.3（同 13.5 ポイント下落）、卸・小売業で▲35.5（同 31.8 ポイント下落）とマイナス幅を拡大するなど、いずれも悪化となった。建設業は公共工事の緩やかな持ち直しや一部の復興関連需要などを背景に底堅い状況ながら、他の業種では悪化傾向が顕在化している。

先行き見通しは全業種で「悪い」超の見込みとなっている。製造業と卸・小売業では改善期待が窺えるものの、建設業とサービス業では悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

| 業種別 | 自社業況（前年同期比） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 調査時（サンプル数） | 全業種 | 建設 | 製造 | 卸・小売 | サービス |
| H 23.11 (n=300) | ▲4.0 | ▲3.0 | ▲4.5 | ▲13.0 | 4.8 |
| H 24.02 (n=302) | ▲7.0 | ▲12.9 | 6.9 | ▲19.5 | ▲1.2 |
| H 24.05 (n=442) | 8.6 | 5.0 | 3.5 | 4.9 | 21.5 |
| H 24.08 (n=385) | 0.8 | 1.3 | ▲8.8 | ▲3.7 | 16.0 |
| H 24.11 (n=405) | ▲15.8 | 2.3 | ▲22.3 | ▲35.5 | ▲2.0 |
| 前回調査比 | (▲16.6) | (1.0) | (▲13.5) | (▲31.8) | (▲18.0) |
| 先行き見通し | ▲20.0 | ▲18.0 | ▲15.9 | ▲26.5 | ▲17.8 |
| 今回調査比 | (▲4.2) | (▲20.3) | (6.4) | (9.0) | (▲15.8) |

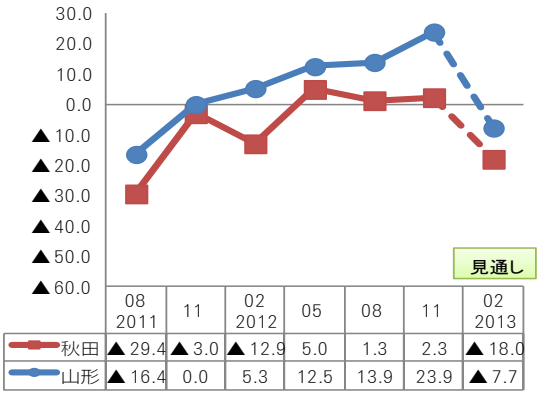
## （２）業種別ＤＩ値の動向

### ① 建設業

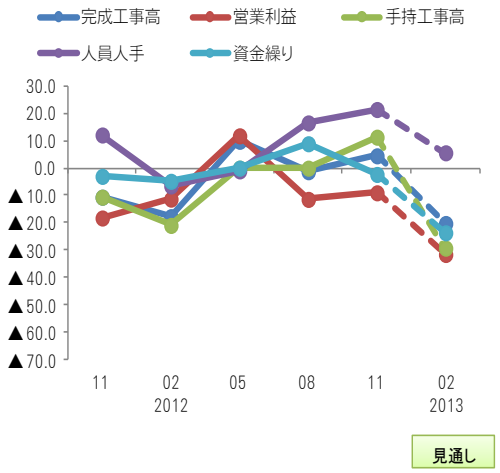
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は 2.3（前回調査比 1.0 ポイント上昇）と３期連続の「良い」超で小幅ながら改善となった。しかし、山形の 23.9（同 10.0 ポイント上昇）に比べて依然大幅な景況感の格差が見られ、回復感の乏しさが窺える。「各種 DI 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」は▲2.3（同 11.2 ポイント下落）と悪化となったものの、他の項目では回復が見られ、被災地へ労働力の流出が続くなか、「人員人手のＤＩ値（前年同期比）」は 21.4（同 4.9 ポイント上昇）と一段と不足感が増している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲18.0（今回調査比 20.3 ポイント下落）と悪化が見込まれており、人件費の高騰や一般の公共工事の減少懸念に加え、復興関連需要の乏しさなどもあり、先行き不透明感が色濃く窺える。

図表 4 建設業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




図表 5 建設業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

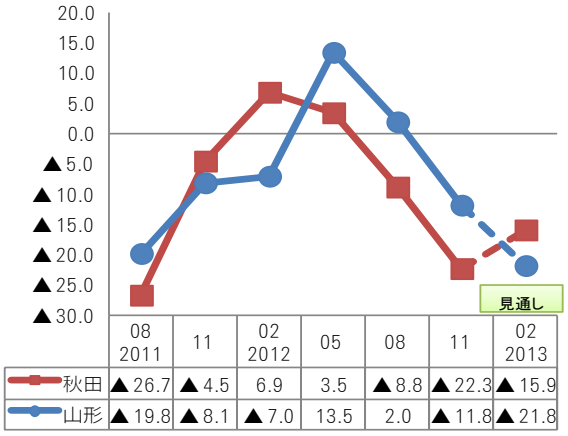
| 建設業 調査時（サンプル数） | 自社業況（前年同期比） | 前回調査比 | 前回調査予測 | 完成工事高 | 営業利益 | 手持工事高 | 人員人手 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H23.11 (n=066) | ▲3.0 | 26.4 | ▲39.7 | ▲10.6 | ▲18.2 | ▲10.6 | 12.1 | ▲3.0 |
| H24.02 (n=062) | ▲12.9 | ▲9.9 | ▲36.3 | ▲17.7 | ▲11.3 | ▲20.9 | ▲6.5 | ▲4.8 |
| H24.05 (n=102) | 5.0 | 17.9 | ▲41.9 | 9.8 | 11.8 | 0.0 | ▲1.0 | 0.0 |
| H24.08 (n=079) | 1.3 | ▲3.7 | ▲20.6 | ▲1.3 | ▲11.4 | 0.0 | 16.5 | 8.9 |
| H24.11 (n=089) | 2.3 | (1.0) | ▲3.8 | 4.5 | ▲9.0 | 11.3 | 21.4 | ▲2.3 |
| 前回調査比 | - | - | - | (5.8) | (2.4) | (11.3) | (4.9) | (▲11.2) |
| 先行き見通し | ▲18.0 | - | - | ▲20.2 | ▲31.5 | ▲29.2 | 5.6 | ▲23.6 |
| 今回調査比 | (▲20.3) | - | - | (▲24.7) | (▲22.5) | (▲40.5) | (▲15.8) | (▲21.3) |

## ② 製造業

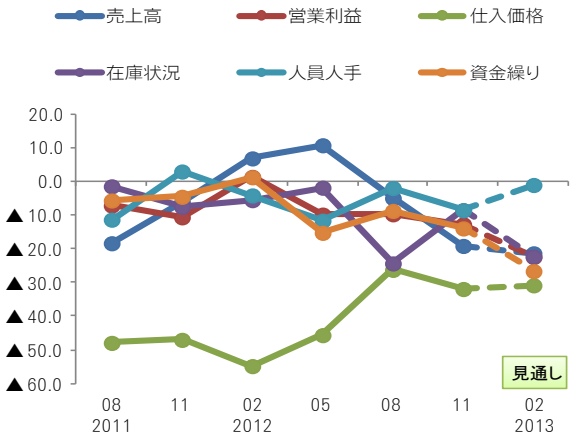
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲22.3（前年同期比 13.5 ポイント下落）と 2 期連続の「悪い」超でマイナス幅がさらに拡大するなど、停滞感が強まっている。「各種ＤＩ値（前年同期比）」でみると、欧米経済の停滞や中国など新興国需要の減速を受けて、売上が▲19.1（同 14.2 ポイント下落）と減少傾向を強めるなど、「在庫状況」を除くすべての項目で前回調査に比べてマイナス幅が拡大している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲15.9（今回調査比 6.4 ポイント上昇）と依然「悪い」超ながら、「人員人手」の余剰感減少を主因に若干の上昇となっている。

図表 6 製造業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




図表 7 製造業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

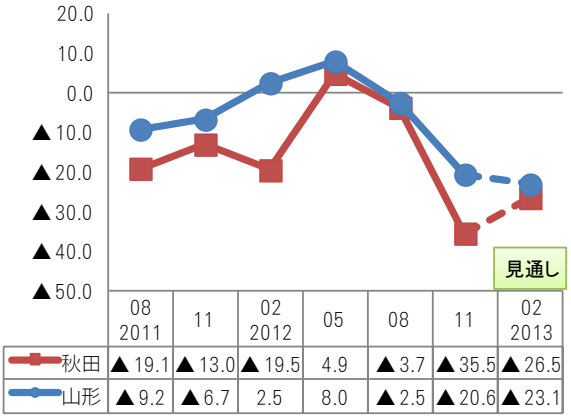
| 製造業 調査時（サンプル数） | 自社業況（前年同期比） | 前回調査比 | 前回調査予測 | 売上高 | 営業利益 | 仕入価格 | 在庫状況 | 人員人手 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H23.11(n=066) | ▲4.5 | 22.2 | 5.7 | ▲6.1 | ▲10.6 | ▲47.0 | ▲7.5 | 3.0 | ▲4.5 |
| H24.02(n=073) | 6.9 | 11.4 | ▲6.1 | 6.9 | 1.4 | ▲54.8 | ▲5.5 | ▲4.1 | 1.3 |
| H24.05(n=112) | 3.5 | ▲3.4 | ▲13.7 | 10.8 | ▲9.8 | ▲45.6 | ▲1.8 | ▲11.6 | ▲15.2 |
| H24.08(n=103) | ▲8.8 | ▲12.3 | ▲6.2 | ▲4.9 | ▲9.7 | ▲26.2 | ▲24.3 | ▲1.9 | ▲8.7 |
| H24.11 (n=094) | ▲22.3 | (▲13.5) | ▲15.5 | ▲19.1 | ▲12.7 | ▲31.9 | ▲8.5 | ▲8.5 | ▲13.9 |
| 前回調査比 | - | - | - | (▲14.2) | (▲3.0) | (▲5.7) | (15.8) | (▲6.6) | (▲5.2) |
| 先行き見通し | ▲15.9 | - | - | ▲21.3 | ▲22.4 | ▲30.8 | ▲22.3 | ▲1.0 | ▲26.6 |
| 今回調査比 | (6.4) | - | - | (▲2.2) | (▲9.7) | (1.1) | (▲13.8) | (7.5) | (▲12.7) |

## ③ 卸・小売業

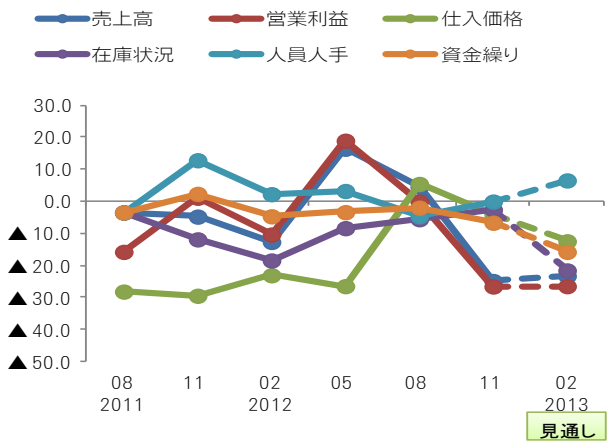
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲35.5（前回調査比 31.8 ポイント下落）と大幅に悪化し、2 期連続の「悪い」超となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」では「人員人手」が 0.0（同 4.6 ポイント上昇）と適正化したものの、エコカー補助金の終了や天候不順の影響などもあり、「売上高」が▲24.8（同 29.4 ポイント下落）、「営業利益」が▲26.5（同 26.5 ポイント下落）と大幅なマイナスに転じている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲26.5（今回調査比 9.0 ポイント上昇）となり、「人員人手」の不足感増大を主因に若干の上昇となっている。

図表 8　卸・小売業「自社業況ＤＩ値(前年同期比)」の推移




図表 9　卸・小売業「各種ＤＩ値(前年同期比)」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

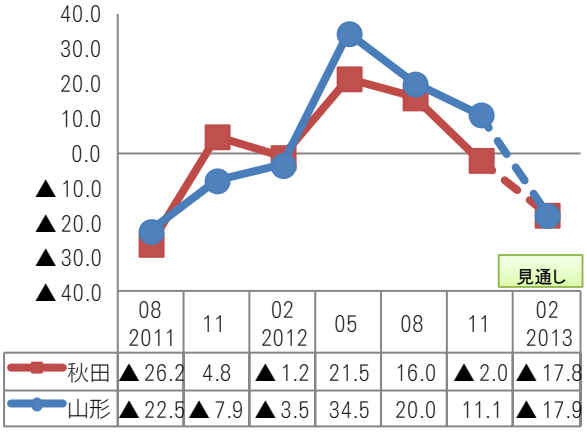
| 卸・小売業 調査時（サンプル数） | 自社業況（前年同期比） | 前回調査比 | 前回調査予測 | 売上高 | 営業利益 | 仕入価格 | 在庫状況 | 人員人手 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H23.11(n=085) | ▲13.0 | 6.1 | ▲4.5 | ▲4.7 | 1.2 | ▲29.4 | ▲11.8 | 12.9 | 2.4 |
| H24.02 (n=087) | ▲19.5 | ▲6.5 | ▲25.8 | ▲12.6 | ▲10.3 | ▲23.0 | ▲18.4 | 2.3 | ▲4.6 |
| H24.05 (n=121) | 4.9 | 24.4 | ▲33.4 | 16.5 | 19.0 | ▲26.4 | ▲8.3 | 3.3 | ▲3.3 |
| H24.08 (n=109) | ▲3.7 | ▲8.6 | ▲5.8 | 4.6 | 0.0 | 5.5 | ▲5.5 | ▲4.6 | ▲1.9 |
| H24.11 (n=121) | ▲35.5 | (▲31.8) | ▲15.6 | ▲24.8 | ▲26.5 | ▲4.1 | ▲2.5 | 0.0 | ▲6.6 |
| 前回調査比 | - | - | - | (▲29.4) | (▲26.5) | (▲9.6) | (3.0) | (4.6) | (▲4.7) |
| 先行き見通し | ▲26.5 | - | - | ▲23.2 | ▲26.4 | ▲12.4 | ▲21.5 | 6.6 | ▲15.7 |
| 今回調査比 | (9.0) | - | - | (1.6) | (0.1) | (▲8.3) | (▲19.0) | (6.6) | (▲9.1) |

## ④ サービス業

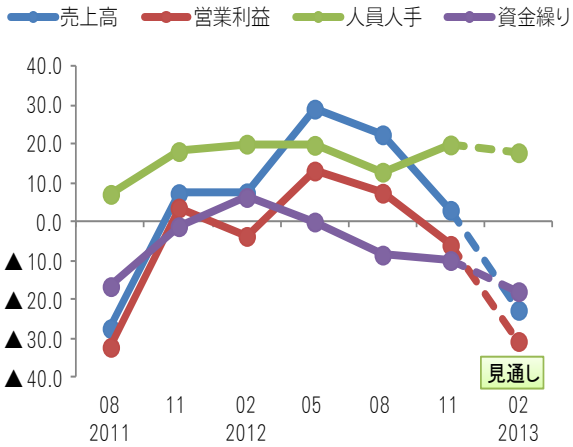
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲2.0（前回調査比 18.0 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となり、3 期ぶりに「悪い」超に転じた。「各種ＤＩ値（前年同期比）」でみると、売上高が 3.0（同 19.4 ポイント下落）と依然「良い」超ながら、大幅に悪化しており、また、営業利益が▲6.0（同 13.4 ポイント下落）で「悪い」超に転じ、資金繰りは▲9.9（同 1.4 ポイント下落）とマイナス幅が拡大している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲17.8（今回調査比 15.8 ポイント下落）とさらにマイナス幅が拡大する見込で、一部に震災関連需要への期待感が窺えるものの、荷動きの停滞や経費増に苦慮する運輸業などを中心に悪化の見通しとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況ＤＩ値(前年同期比)」の推移




図表 11 サービス業「各種ＤＩ値(前年同期比)」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

| サービス業 調査時（サンプル数） | 自社業況（前年同期比） | 前回調査比 | 前回調査予測 | 売上高 | 営業利益 | 人員人手 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H23.11(n=083) | 4.8 | 31.0 | ▲19.0 | 7.3 | 3.6 | 18.1 | ▲1.2 |
| H24.02(n=080) | ▲1.2 | ▲6.0 | ▲22.9 | 7.5 | ▲3.7 | 20.0 | 6.3 |
| H24.05(n=107) | 21.5 | 22.7 | ▲15.0 | 29.0 | 13.1 | 19.7 | 0.0 |
| H24.08(n=094) | 16.0 | ▲5.5 | ▲9.3 | 22.4 | 7.4 | 12.8 | ▲8.5 |
| H24.11 (n=101) | ▲2.0 | (▲18.0) | ▲5.3 | 3.0 | ▲6.0 | 19.8 | ▲9.9 |
| 前回調査比 | - | - | - | (▲19.4) | (▲13.4) | (7.0) | (▲1.4) |
| 先行き見通し | ▲17.8 | - | - | ▲22.7 | ▲30.7 | 17.8 | ▲17.9 |
| 今回調査比 | (▲15.8) | - | - | (▲25.7) | (▲24.7) | (▲2.0) | (▲8.0) |

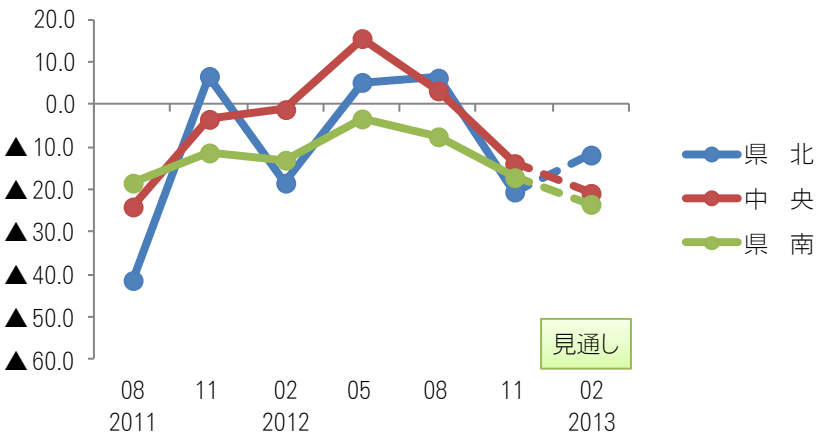
# 3. 地域別の動向

## （１）地域別の概況

地域別に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、県北で▲20.5（前回調査比 26.8 ポイント下落）、中央で▲13.8（同 17.1 ポイント下落）と「悪い」超に転じたほか、県南では▲17.1（同 9.6 ポイント下落）と「悪い」超幅が拡大している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が県北で▲11.8（今回調査比 8.7 ポイント上昇）と幾分改善が見込まれているものの、中央で▲20.8（同 7.0 ポイント下落）、県南で▲23.4（同 6.3 ポイント下落）とともにマイナス幅が拡大しており、悪化の見通しとなっている。

図表 12 地域別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

| 地域別 | 自社業況（前年同期比） | | | |
|---|---|---|---|---|
| 調査時（サンプル数） | 全地域 | 県北 | 中央 | 県南 |
| H 23.11 (n=300) | ▲ 4.0 | 6.7 | ▲ 3.4 | ▲ 11.3 |
| H 24.02(n=302) | ▲ 7.0 | ▲ 18.4 | ▲ 1.1 | ▲ 13.0 |
| H 24.05(n=442) | 8.6 | 5.3 | 15.6 | ▲ 3.3 |
| H 24.08(n=385) | 0.8 | 6.3 | 3.3 | ▲ 7.5 |
| H 24.11 (n=405) | ▲ 15.8 | ▲ 20.5 | ▲ 13.8 | ▲ 17.1 |
| 前回調査比 | (▲ 16.6) | (▲ 26.8) | (▲ 17.1) | (▲ 9.6) |
| 先行き見通し | ▲ 20.0 | ▲ 11.8 | ▲ 20.8 | ▲ 23.4 |
| 今回調査比 | (▲ 4.2) | (8.7) | (▲ 7.0) | (▲ 6.3) |

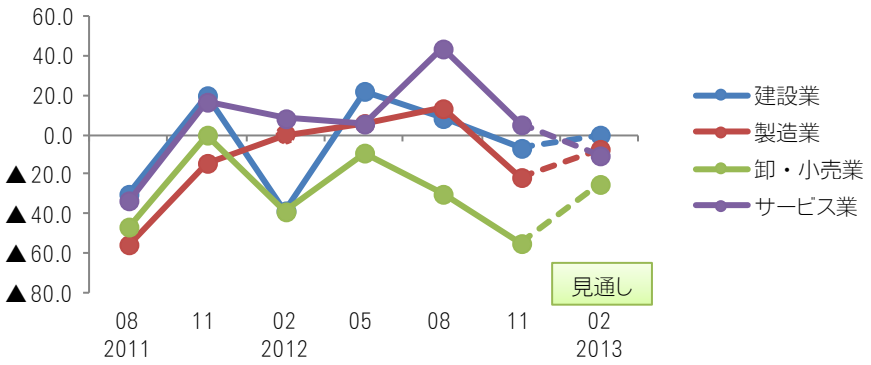
## （２）地域別ＤＩ値の動向

### ① 県北

「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲20.5（前回調査比 26.8 ポイント下落）と３期ぶりに悪化し、大幅な「悪い」超に転じた。業種別にみると、サービス業が 5.2（同 38.5 ポイント下落）とＤＩ値はプラスを維持したものの、大幅に悪化しており、建設業や製造業、卸・小売業のＤＩ値はマイナスで、いずれも大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲11.8（今回調査比 8.7 ポイント上昇）と依然「悪い」超ながら、サービス業を除く各業種で今回調査に比べてマイナス幅が縮小の見通しとなっている。

図表 13　県北業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

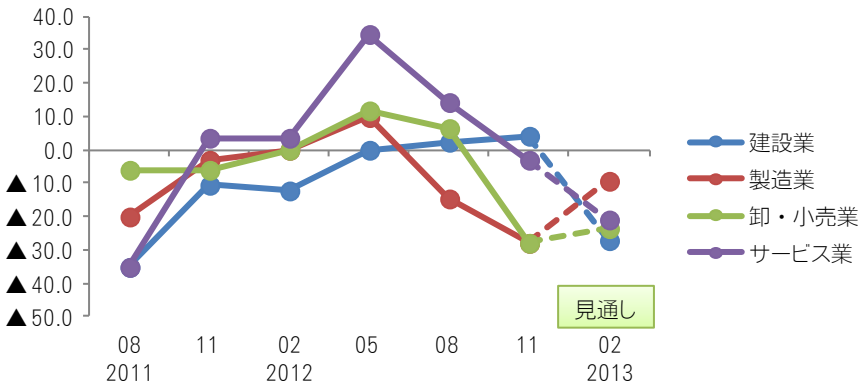
| 県　北<br>調査時(サンプル数) | 自社業況（前年同期比） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 建 設 | 製 造 | 卸・小売 | サービス |
| H 23.11 (n=045) | 6.7 | 20.0 | ▲ 14.3 | 0.0 | 16.7 |
| H 24.02 (n=049) | ▲ 18.4 | ▲ 38.4 | 0.0 | ▲ 38.9 | 8.3 |
| H 24.05 (n=075) | 5.3 | 22.2 | 5.9 | ▲ 9.1 | 5.6 |
| H 24.08 (n=063) | 6.3 | 8.4 | 13.4 | ▲ 30.0 | 43.7 |
| H 24.11 (n=068) | ▲ 20.5 | ▲ 6.7 | ▲ 21.5 | ▲ 55.0 | 5.2 |
| 前回調査比 | (▲ 26.8) | (▲ 15.1) | (▲ 34.9) | (▲ 25.0) | (▲ 38.5) |
| 先行き見通し | ▲ 11.8 | 0.0 | ▲ 7.2 | ▲ 25.0 | ▲ 10.5 |
| 今回調査比 | (8.7) | (6.7) | (14.3) | (30.0) | (▲ 15.7) |

## ② 中央

「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲13.8（前回調査比 17.1 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となり、「悪い」超に転じた。業種別にみると、公共工事の緩やかな持ち直しもあり、建設業のＤＩ値が 4.2（同 1.8 ポイント上昇）とプラスを維持したものの、製造業や卸・小売業、サービス業のＤＩ値はマイナスとなり、いずれも前回調査に比べて大幅に悪化している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲20.8（今回調査比 7.0 ポイント下落）と一層の悪化が見込まれている。業種別では、各業種ともＤＩ値がマイナスながら、建設業とサービス業で悪化となる一方、製造業と卸・小売業では改善の見通しとなっている。

図表 14　中央業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移




**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

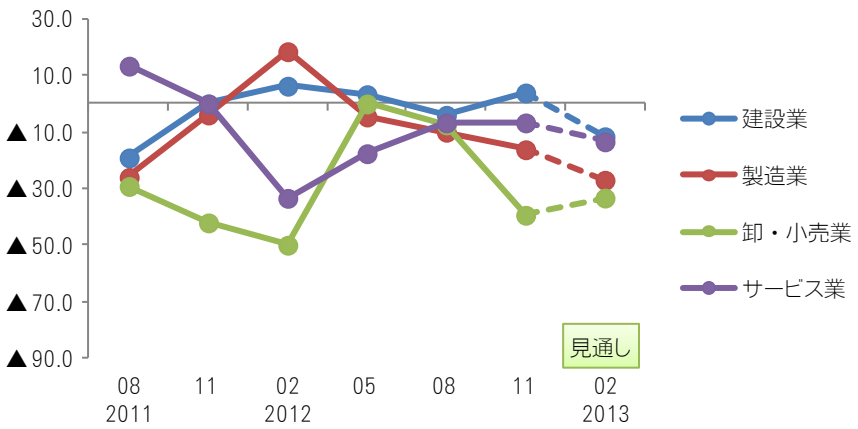
| 中　央<br>調査時(サンプル数) | 自社業況（前年同期比） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 建 設 | 製 造 | 卸・小売 | サービス |
| H 23.11 (n=176) | ▲ 3.4 | ▲ 10.5 | ▲ 3.0 | ▲ 6.0 | 3.6 |
| H 24.02 (n=176) | ▲ 1.1 | ▲ 12.2 | 0.0 | 0.0 | 3.6 |
| H 24.05 (n=245) | 15.6 | 0.0 | 9.8 | 11.8 | 34.7 |
| H 24.08 (n=215) | 3.3 | 2.4 | ▲ 14.6 | 6.5 | 14.3 |
| H 24.11 (n=226) | ▲ 13.8 | 4.2 | ▲ 27.9 | ▲ 27.9 | ▲ 3.0 |
| 前回調査比 | (▲ 17.1) | (1.8) | (▲ 13.3) | (▲ 34.4) | (▲ 17.3) |
| 先行き見通し | ▲ 20.8 | ▲ 27.1 | ▲ 9.3 | ▲ 23.5 | ▲ 20.9 |
| 今回調査比 | (▲ 7.0) | (▲ 31.3) | (18.6) | (4.4) | (▲ 17.9) |

## ③ 県南

「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲17.1（前回調査比9.6ポイント下落）と2期連続で悪化し、「悪い」超の幅が拡大している。業種別にみると、公共工事の緩やかな持ち直しなどを受けて、建設業のＤＩ値が3.9（同7.9ポイント上昇）と、再び小幅ながらプラスに転じ、改善が見られたものの、他の各業種のＤＩ値はいずれも引き続きマイナスで、卸・小売業と製造業では前回調査に比べてマイナス幅が拡大し悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲23.4（今回調査比 6.3 ポイント下落）とさらに悪化の見通しとなっている。業種別ではいずれの業種もＤＩ値がマイナスで、卸・小売業で小幅改善を見込んでいるものの、他の各業種では悪化の見通しとなっている。

図表 15　県南業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



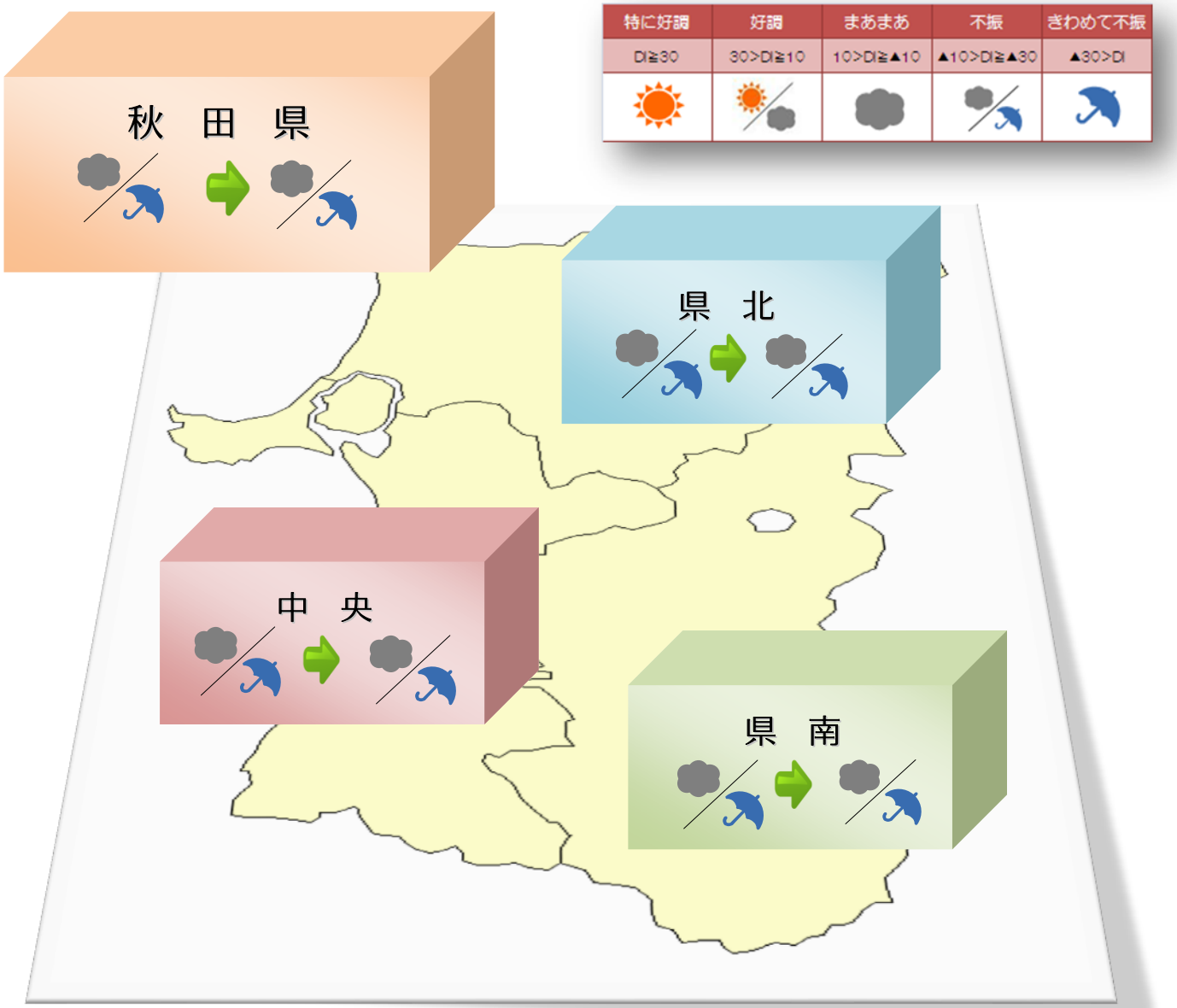

**前年同期比の自社業況ＤＩ値**

| 県　南<br>調査時(サンプル数) | 自社業況（前年同期比） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 建 設 | 製 造 | 卸・小売 | サービス |
| H 23.11 (n=79) | ▲ 11.3 | 0.0 | ▲ 3.9 | ▲ 42.1 | 0.0 |
| H 24.02 (n=77) | ▲ 13.0 | 6.3 | 18.5 | ▲ 50.0 | ▲ 33.4 |
| H 24.05 (n=122) | ▲ 3.3 | 3.3 | ▲ 4.6 | 0.0 | ▲ 17.6 |
| H 24.08 (n=107) | ▲ 7.5 | ▲ 4.0 | ▲ 10.0 | ▲ 7.4 | ▲ 6.7 |
| H 24.11 (n=111) | ▲ 17.1 | 3.9 | ▲ 16.2 | ▲ 39.4 | ▲ 6.7 |
| 前回調査比 | (▲ 9.6) | (7.9) | (▲ 6.2) | (▲ 32.0) | (0.0) |
| 先行き見通し | ▲ 23.4 | ▲ 11.6 | ▲ 27.0 | ▲ 33.3 | ▲ 13.4 |
| 今回調査比 | (▲ 6.3) | (▲ 15.5) | (▲ 10.8) | (6.1) | (▲ 6.7) |

## II. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

| 特に好調 | 好調 | まあまあ | 不振 | きわめて不振 |
|---|---|---|---|---|
| DI≧30 | 30>DI≧10 | 10>DI≧▲10 | ▲10>DI≧▲30 | ▲30>DI |




今期の概況

| | 秋田県 | 県北 | 中央 | 県南 |
|---|---|---|---|---|
| 全業種 | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ |
| 建設 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ |
| 製造 | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ |
| 卸・小売 | ☂ | ☂ | ☁☂ | ☂ |
| サービス | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ |

来期の見通し

| | 秋田県 | 県北 | 中央 | 県南 |
|---|---|---|---|---|
| 全業種 | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ |
| 建設 | ☁☂ | ☁ | ☁☂ | ☁☂ |
| 製造 | ☁☂ | ☁ | ☁ | ☁☂ |
| 卸・小売 | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ | ☂ |
| サービス | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ | ☁☂ |

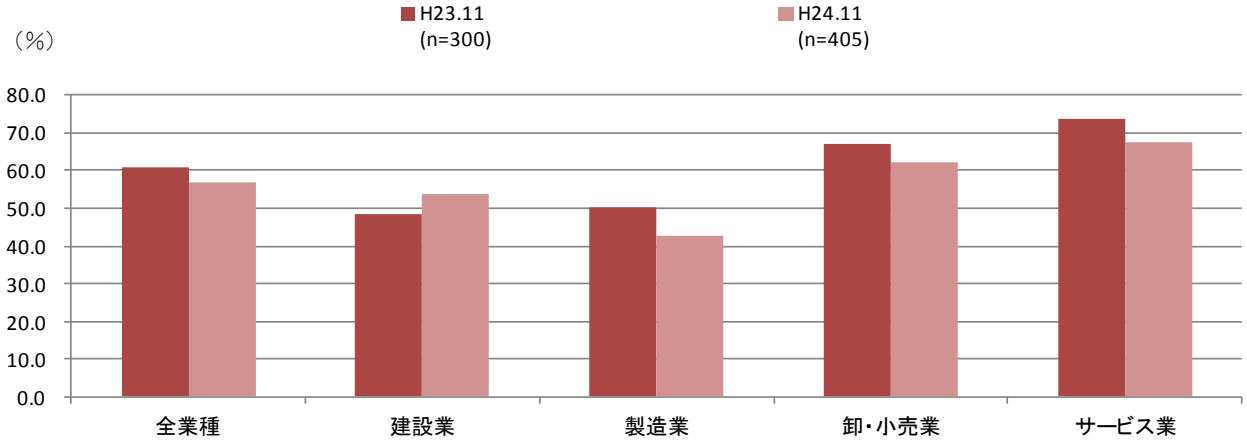
# III. 特別調査（冬季ボーナスについて）

## １．冬季ボーナスの支給動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で 57.0％が「支給する」と回答している。「支給する」と回答した企業の割合は前年比で 4.0 ポイントの低下となっている。

業種別にみると、建設業が 53.9％と前年比で 5.4 ポイント上昇となった。一方、製造業 42.6％（7.4 ポイント下落）、卸・小売業 62.0％（5.1 ポイント下落）、サービス業 67.3％（6.2 ポイント下落）と建設業以外の業種ではいずれも前年比で低下となっている。建設業のプラスの要因としては、公共工事の緩やかな持ち直しや一部の復興関連需要を背景に、総じてみれば業況が底堅い状況にあることが考えられる。

図表 1　業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



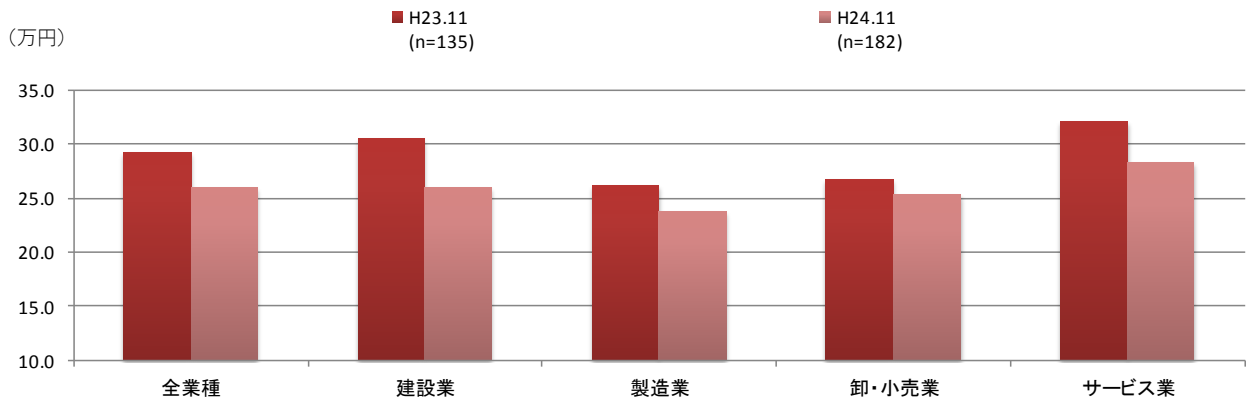

| | H23.11 (n=300) | H24.11 (n=405) | 前年比 |
|---|---|---|---|
| 全業種 | 61.0 | 57.0 | ▲ 4.0 |
| 建設業 | 48.5 | 53.9 | 5.4 |
| 製造業 | 50.0 | 42.6 | ▲ 7.4 |
| 卸・小売業 | 67.1 | 62.0 | ▲ 5.1 |
| サービス業 | 73.5 | 67.3 | ▲ 6.2 |

## ２．冬季ボーナスの支給額

冬季ボーナスを「支給する」と回答した企業に対して支給額について尋ねたところ、全業種では 26.0 万円と前年比 11.3%の減少となった。

業種別にみると建設業が 26.0 万円（前年比 14.8%減）、製造業が 23.7 万円（同 9.2%減）、卸・小売業で 25.3 万円（同 5.2%減）、サービス業で 28.2 万円（同 12.1%減）と、いずれの業種でも前年に比べて減額の見込みとなっている。企業毎のバラツキはあるものの、この要因としては、総じてみれば足元の業況が悪化傾向にあり、国内外の需要動向が先行き不透明な状況にあることなどが考えられる。

図表 2　業種別「冬季ボーナス平均支給額」の推移

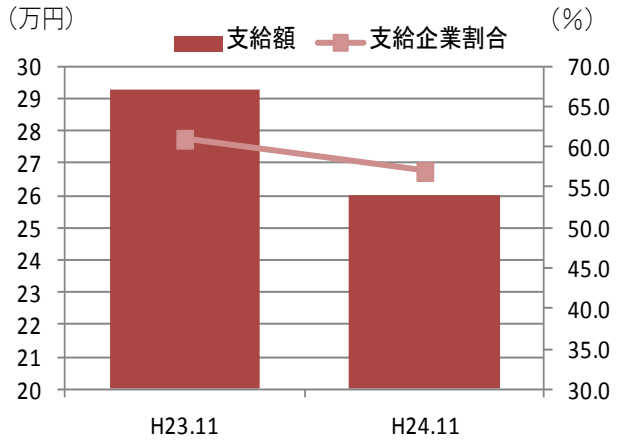



（単位：万円）

| | H23.11 (n=135) | H24.11 (n=182) | 前年比 |
|---|---|---|---|
| 全業種 | 29.3 | 26.0 | -11.3% |
| 建設業 | 30.5 | 26.0 | -14.8% |
| 製造業 | 26.1 | 23.7 | -9.2% |
| 卸・小売業 | 26.7 | 25.3 | -5.2% |
| サービス業 | 32.1 | 28.2 | -12.1% |

## ３．支給企業割合と支給額の推移

図表 3　全業種「支給企業割合と支給額の比較」

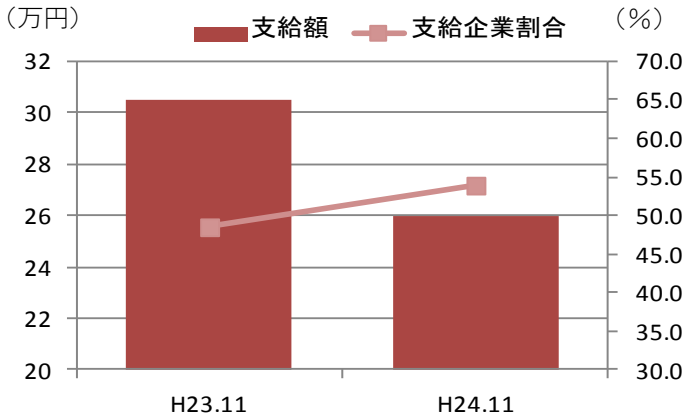



冬季ボーナスを支給する企業の割合と平均支給額を昨年と比較すると、全業種では支給企業割合、支給額ともに減少している。

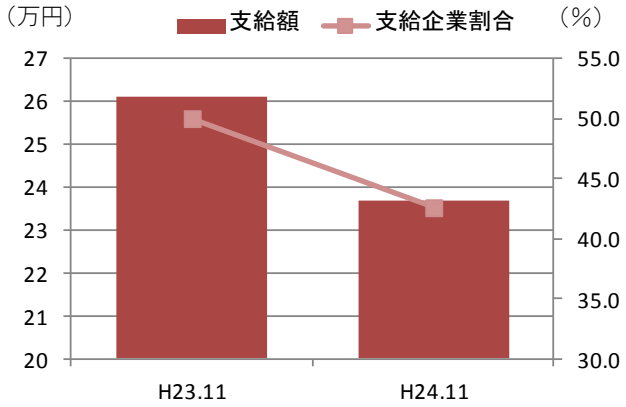
業種別に比較すると、建設業では支給企業割合が前年を上回ったものの、支給額は減少となった。また、製造業、卸・小売業、サービス業の各業種では支給割合、支給額とも前年に比べて減少している。

県内景気は今夏以降足踏み傾向を示し、足元は後退感が窺える状況にあり、こうした業況の厳しさを映じて、冬季ボーナス支給については、総じて減額傾向が窺える結果となった。

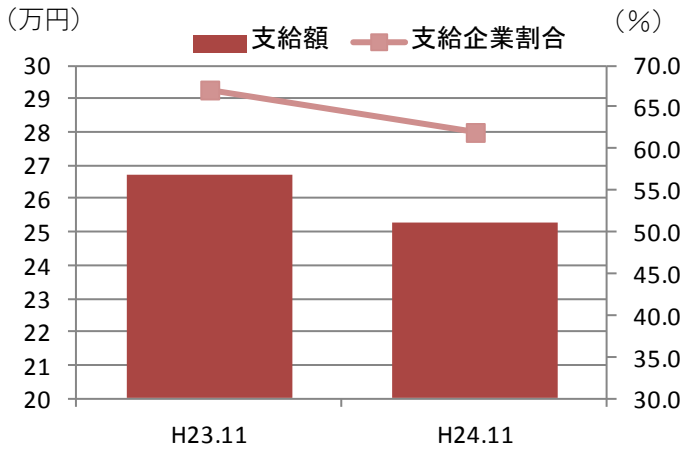
図表 4　建設業「支給企業割合と支給額の比較」



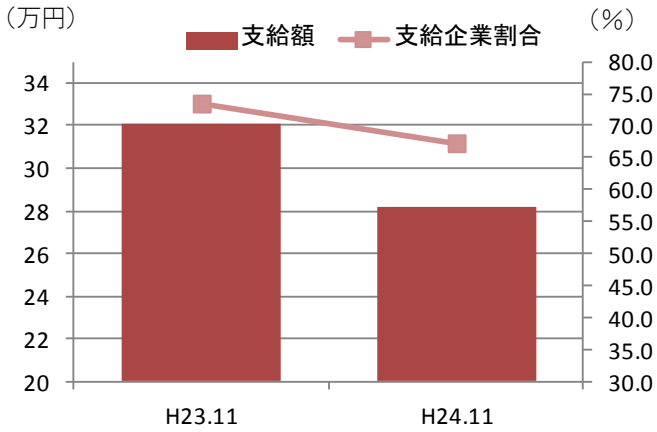

図表 5　製造業「支給企業割合と支給額の比較」




図表 6　卸・小売業「支給企業割合と支給額の比較」




図表 7　サービス業「支給企業割合と支給額の比較」



＜参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率＞

（サンプル数：社）

| | 建　設 | 製　造 | 卸・小売 | サービス | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 県　北 | 25 | 22 | 27 | 22 | 96 |
| 中　央 | 73 | 66 | 93 | 86 | 318 |
| 県　南 | 39 | 57 | 44 | 30 | 170 |
| 合　計 | 137 | 145 | 164 | 138 | 584 |

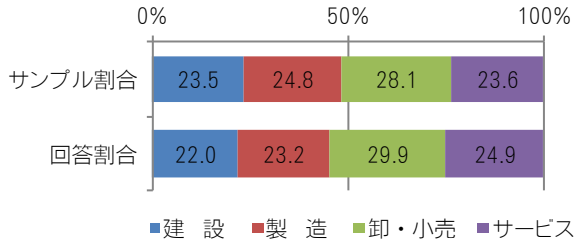
（回答数：社）

| | 建　設 | 製　造 | 卸・小売 | サービス | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 県　北 | 15 | 14 | 20 | 19 | 68 |
| 中　央 | 48 | 43 | 68 | 67 | 226 |
| 県　南 | 26 | 37 | 33 | 15 | 111 |
| 合　計 | 89 | 94 | 121 | 101 | 405 |

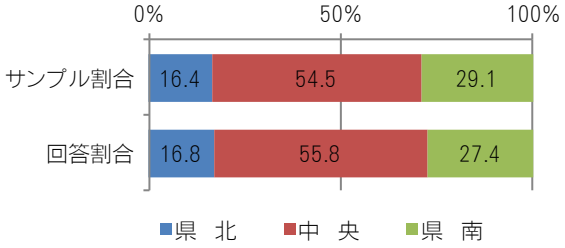
（回答率：％）

| | 建　設 | 製　造 | 卸・小売 | サービス | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 県　北 | 60.0 | 63.6 | 74.1 | 86.4 | 70.8 |
| 中　央 | 65.8 | 65.2 | 73.1 | 77.9 | 71.1 |
| 県　南 | 66.7 | 64.9 | 75.0 | 50.0 | 65.3 |
| 合　計 | 65.0 | 64.8 | 73.8 | 73.2 | 69.3 |

（業種別：％）




（地域別：％）




## ＜参考資料Ⅱ：調査の概要＞

### ● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

### ● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部ＦＡＸを利用）。

### ● 調査期間

平成２４年11月１日（木）～１４日（水）

### ● 地域区分

| 地域名 | 対象となる市町村名 |
|---|---|
| 県　北 | 大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村 |
| 中　央 | 秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村 |
| 県　南 | 横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村 |

## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

| 項　　目 | 選択肢　（択一方式） | | |
|---|---|---|---|
| 自社の業況（共通項目） | 1．良い | 2．さほど変わらない | 3．悪い |
| 業界の業況（共通項目） | 1．良い | 2．さほど変わらない | 3．悪い |
| 売上高（建設業を除く） | 1．増えた | 2．さほど変わらない | 3．減った |
| 完成工事高（建設業） | 1．増えた | 2．さほど変わらない | 3．減った |
| 営業利益（共通項目） | 1．増えた | 2．さほど変わらない | 3．減った |
| 人員や人手（共通項目） | 1．足りない | 2．ちょうどよい | 3．余っている |
| 資金繰り（共通項目） | 1．楽になった | 2．さほど変わらない | 3．厳しい |
| 原材料等の仕入価格（製造業のみ） | 1．下がった | 2．さほど変わらない | 3．上がった |
| 製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ） | 1．下がった | 2．さほど変わらない | 3．上がった |
| 在庫状況（製造業） | 1．増えた | 2．さほど変わらない | 3．減った |
| 手持工事高（建設業） | 1．増えた | 2．さほど変わらない | 3．減った |

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれＤＩ値を算出する。ＤＩ値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例）自社の業況ＤＩ値

＝（「1. 良い」と回答した企業の割合）－（「3. 悪い」と回答した企業の割合）

たとえば「自社の業況ＤＩ値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のＤＩ値についても同様に、選択肢「1.　」（表 4「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3.　」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

### ＜お知らせ＞

ＦＳＮ会員専用ホームページ（http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi）にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ（http://www. f-ric.co.jp/）「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

### ＜お問い合わせ先＞

株式会社フィデア総合研究所　　研究開発グループ／後藤正彦（秋田本部）／高橋富偉（とみい）（山形本社）

・山形本社
〒990-0043　山形県山形市本町 1-4-21　荘銀山形ビル 8F
TEL：023-626-9017　　Fax：023-626-9038　　E-mail：kenkyuu@f-ric.co.jp
URL：http://www.f-ric.co.jp
・秋田本部
〒010-0001　秋田県秋田市中通 3-1-41　北都銀行本店 8F
TEL：018-837-1727　　Fax：023-834-5508